

# 埼玉県

(入間地区)

## ナギナタガヤを活用した狭山茶の安定生産

### 【1. 概要】

- ・ナギナタガヤをバンカー植物として活用し、茶栽培においてクワシロカイガラムシ、チャトゲコナジラミなどの発生を抑制
- ・天敵への影響が少ない農薬の利用と組み合わせることにより防除回数を削減(慣行の12回より1~3回削減)



図1. 生育旺盛なナギナタガヤ

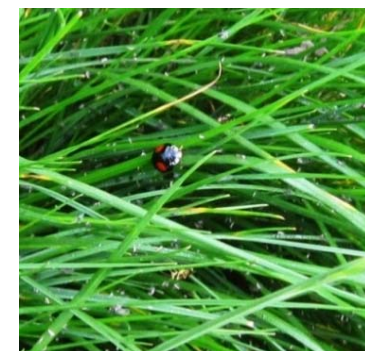


図2. ナミテントウ成虫

### 【2. 実践内容】

#### (1) 取り組みの背景、経緯

- ・天敵の利用により難防除害虫であるクワシロカイガラムシやチャトゲコナジラミの被害を軽減させ、狭山茶の安定生産を図った
- ・秋にナギナタガヤを茶園周辺には種し、春にテントウムシ類などの捕食天敵を増加させ、クワシロカイガラムシやチャトゲコナジラミなどの発生を抑制した(図1、2、3)

#### (2) 普及にあたって生じた課題等、その理由

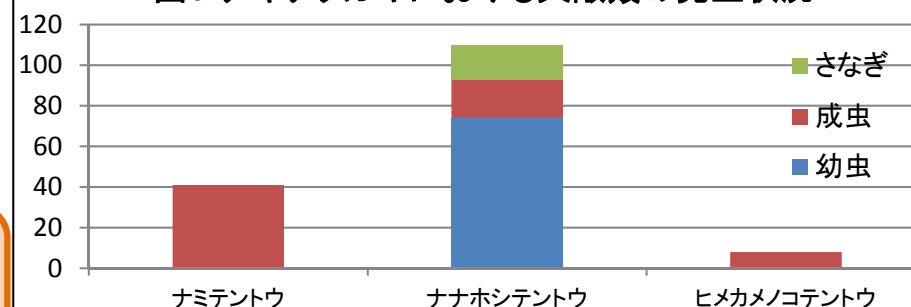
- ・ナギナタガヤは一旦導入すれば、こぼれた種子が翌年に発芽し茶園内に定着する可能性があることを、事前に生産者に説明した上で導入を勧める

### 【3. 得られた経験、課題に対する対応・解決策】

- ・ナギナタガヤは気温の上昇とともに地上部が枯死・倒伏し地面を覆うため、雑草抑制効果もある。また乗用型管理機に踏まれても枯損しないため、枕地の土壌の流亡防止になる
- ・さらなる推進による実践農家数の増加(現在15戸)
- ・他の種類のバンカー植物の検討

【問い合わせ先】  
埼玉県茶業研究所 (①農業革新支援担当、②茶業技術研究担当)  
電話：①04-2936-2808、  
②04-2936-1351

図3. ナギナタガヤにおける天敵類の発生状況



※4月22、23日ナギナタガヤ10~15か所の叩き落とし法による調査